

リハビリテーション研修会 開催報告

平成 24 年 4 月 21 日 (土)

リハビリテーション学部

- ▶場 所 前橋さくらホテル
▶座 長 講演 1: 栗原卓也 先生 (群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部 学部長)
講演 2: 美原 盤 先生 (公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院 病院長)
▶講演者 講演 1: 伊藤恵康 先生 (医療法人 慶友会 慶友整形外科病院 病院長)
講演 2: 里宇明元 先生 (慶応義塾大学 医学部 リハビリテーション医学教室 教授)
(日本リハビリテーション医学会 理事長)

事業概要

4 月 21 日 (土) 17 時より、前橋さくらホテルにおいて、群馬医療福祉大学リハビリテーション学部研修会 (リハビリテーション学部開設記念研修会) が開催されました。

演者には、講演 1 において、医療法人慶友会 慶友整形外科病院 病院長の伊藤恵康先生、講演 2 において、慶応義塾大学 リハビリテーション医学教室 教授ならびに日本リハビリテーション学会理事長の里宇明元先生をお招きいたしました。

伊藤恵康先生には、「肘関節のスポーツ障害: 診断、治療、リハビリテーション」をご講演いただきました。伊藤先生は、日本の肘関節外科のパイオニアであり、現在でも、日本全国から肘にトラブルを抱えた数多くのスポーツ選手が館林に、伊藤先生の治療を求めて集まって来ています。その長い確かなご経験、特に数多くの有名プロ野球選手を治療し、現場に復帰させた症例を提示いただき、肘の故障の問題点、解決方法、その後のリハビリについて、懇切丁寧にご講演いただきました。

中でも、巨人の東野投手の逸話は、出席された先生方をうならせました。

里宇先生には、「ブレイン・マシン・インターフェース (BMI) が拓くリハビリテーションの新たな可能性」をご講演いただきました。

脳血管障害による運動麻痺に対して、従来から行なわれてきたリハビリテーションとは全く異なる手法により、麻痺の回復を図る新しい、画期的な新技術を、わかりやすくご講演いただきました。

最新のコンピュータテクノロジーを用いて、脳血管障害により失われた脳波を再び取り戻す事により、本来もっていた自然な動きを回復しようという、根本的な治療に迫るものであり、現場の先生方の興味を引き付けた内容でありました。



群馬医療福祉大 (鈴木利定学長) はリハビリテーション学部の開設を記念して、前橋市内のホテルで研修会を開き、関係者 100 人が熱心に耳を傾けた。

慶応義塾大医学部リハビリテーション医学教室の里宇明元教授と、慶友整形外科病院の伊藤恵康院長が講演した。

里宇教授は、思うだけ外部機械を操作する技術「ブレイン・マシン・インターフェース (BMI)」に言及。研究内容と新たな可能性について述べ、「(慶応大では) インターネット上の仮想キャラクターを操ることができるようになった」と成果を報告した。

リハビリ学部
開設で研修会
群馬医療福祉大



「上毛新聞」掲載

BMI について講演
する里宇教授